



# 私と油絵

吉田 モミエさん(城辺甲)



◀ お気に入りのアトリエで1日3時間程度筆を走らせる。俳句も楽しむ吉田さんは、芸術を通じてつながった仲間との時間を大切にしている。

”想像しながら絵を書くことが元気の秘訣”

吉田モミエさんが油絵を始めたのは50年近く前のこと。教員時代に同僚だった美術教諭から油絵グループの誘いを受け、経験もない油絵の世界に足を踏み入れることになりました。「全くの素人で何を描いているのか、何が描きたいのかも分からないながらも、一生懸命に絵を描き続けていた」と、始めた頃の思い出を振り返ります。昭和57年に退職した吉田さんは、教員時代には手掛けることのできなかった30号(91cm×73cm)の大きなキャンバスにも挑戦し、その年に開催された秋季県展では見事初入選しました。それ以降、秋季県展に作品を出し続けて今年で42年目、そのうち35回入選という功績を収め、県内最高齢の女性油絵画家として新聞に取り上げられたこともあります。

今年の制作を前に意気込む吉田さんは御年97歳。毎年出展している50号(117cm×91cm)の大きな作品は、2～3ヵ月かけて華麗な色彩で仕上げていきます。「何もない真っ白の大きなキャンバスの前に座り、どういう絵になるか考えながら描いていると完成が楽しみになる。自分が撮ってきた写真にただ似せて描くのではなく、色の調和など、自分なりに加減して表現できるのが油絵の魅力」と笑顔で話します。

自宅にはこれまで描き上げてきた大小さまざまな作品が所狭しと並べられ、それら全てが吉田さんの思い出。庭に咲いていた花や、旅先で見た美しい風景など、作品一つ一つに対する思い出やこだわりを話す吉田さんの表情は温かく、これからも元気に描き続けることに高い意欲を見せました。

## 編集後記

4月の異動で広報の担当になり、慣れない取材や編集作業に四苦八苦しつつも、周りの助けもあって5月号の発行に至りました。

こうして広報の編集に携わっていると、今まで何気なく見ていた卒業式などの年中行事も、多くの人が思いをこめて執り行っているのだなと実感します。これからは私自身も広報の担当として、一つでも多くの大切な思いと情報を、皆さまに届けることができるように心掛けていきたいです。

いつも緊張感を持って取材に向かいますが、たまに道具を持って行き忘れたり、現場に忘れて帰ったり。先日は大事な相棒「録音機」を現場に置き去りにしてしまいました(私の先輩も何度か録音機を置き去りにしています)。

無事届けていただき、録音データを聞きながら原稿を書いていると、「あー！M君の！早く…」と、忘れ物に気付いて届けてくれようとする、心温まる音声まで録音されていました。やっぱりいい町だなと、予想外の形で感じる事が出来ました。

## 編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214

## 愛南町の世帯数と人口

令和5年4月1日現在

世帯数	9,953世帯 (-34世帯)
人口	19,328人 (-136人)
男	9,170人 (-66人)
女	10,158人 (-70人)

愛南町の高齢化率 46.3%  
※( )内は前月比

●10年前 同月の人口 24,239人